

令和6年度 自 己 評 価 表

鳥取県立米子南高等学校

中長期目標 (学校ビジョン)	大胆な挑戦	1 意欲を育てる 2 成長を支える 3 変化を求める
今年度の 重点目標	1 基礎学力の向上 3 的確な情報発信 5 地域社会への貢献	2 基本的生活習慣の確立 4 キャリア教育の充実 6 業務改善の取組

年 度 当 初					評 価 結 果 (10月)		
評価項目	評価の具体項目	現状	目標(年度末の目指す姿)	目標達成のための方策	経過・達成状況	評価	改善方策
1 基礎学力の向上	家庭学習を充実させ、基礎学力を定着させる。	・ 1 時間以上の家庭学習を行っている生徒の割合：25.1% ・ 検定対策、学力下位層に対する指導、課題提出等の取組を行い、一定の成果が得られた。	1 1 時間の家庭学習を行っている生徒の割合：30%以上 2 教科間の連携を密にし、地域貢献に繋がる汎用性のある学力を育成する。 3 課題研究(3年時)では、「探究的な学習の視点」を持って取り組む。	1 各教科が連携して家庭学習に取り組ませると同時に、生徒自ら学びを深めたいとするような仕掛け作りをより一層行う。 2 定期考査や各種検定の対策を行うとともに学力下位層に対するきめの細かい学習指導を行う。 3 「探究的な学習」の視点を身につけるため、各種の研修、教科横断型の学びについての姿勢を身につける。	1 朝勉強テスト、基礎力診断テスト、定期考査等を通じて家庭学習に対する姿勢が身についてきている。 2 専門科を中心に講習を実施し、不得意意識の克服に努めた。 3 「課題研究」では他の教科で身につけた知識・技能を生かすなど、教科横断的な学びができている。	B	1 引き続き家庭学習が定着するよう指導を継続する。 2 高い目標をもってより高いレベルを目指す指導の必要性がある。 3 「課題研究」では、探究的な学びが深まるよう、教員から適切な指導・助言ができるように努める。
	一般教養を習得させ、社会人としての必要な力を身に付けさせる。	・ ICT活用を進めているところ(職員の81.6%が「ICTを活用した授業を実施」と回答)。 ・ 授業理解における肯定的評価の割合：85.8%、朝読書・朝勉強テストで知識が身についたと感じている生徒の割合：73.8%	4 全ての教員がICTを活用した授業を行っている。 5 授業理解における肯定的評価の割合及び朝読書・朝勉強テストで知識が身につけている生徒の割合：85%以上	4 Chromebookを授業や課題に積極的に活用する。そのため校内研修を充実させる。 5 朝勉強テストを含め知識及び学力向上について、その効果、代替策についてICT活用を視野に入れながら研究、検討を行う。	4 I C T支援員の指導のもと、校内研修を実施。授業の合間等に意欲的に操作方法を確認することがみられた。I C Tを活用する場面で何かのトラブルが生じた場合、対応に苦慮することある。 5 代替策のI C T活用について検討中であるが、現段階ではさまざまな課題があると考えている。	C	4 引き続き校内研修会を行い、I C T活用能力の向上に努める。 5 基礎学力の定着を図るため、引き続き検討していきたい。

令和6年度 自 己 評 価 表

鳥取県立米子南高等学校

中長期目標 (学校ビジョン)	大胆な挑戦	1 意欲を育てる 2 成長を支える 3 変化を求める
今年度の 重点目標	1 基礎学力の向上 3 的確な情報発信 5 地域社会への貢献	2 基本的生活習慣の確立 4 キャリア教育の充実 6 業務改善の取組

年 度 当 初					評 価 結 果 (10)月		
評価項目	評価の具体項目	現状	目標(年度末の目指す姿)	目標達成のための方策	経過・達成状況	評価	改善方策
2 基本的生活習慣の確立	知・徳・体のバランスが良い生徒を育成する	・基本的生活習慣が確立していると考えている割合：生徒88.6% 保護者：85.5% ・保健室来室者の状況等を鑑みて、必要に応じた保健指導を実施し、基本的生活習慣の定着を図った。	1 基本的生活習慣が確立していると考えている生徒及び保護者の割合：両者とも90%以上 2 支援を必要とする生徒への理解に努め、全職員で共有している。	1 生徒、保護者、教育相談をはじめとする校内組織及び関係機関の連携を強める。また生徒が安心して学校生活が送れるよう、生徒に積極的な働き方を行う。 2 hyper-QUやコミュニケーショントレーニングを行い、生徒情報を共有しながらきめ細かく対応していく。	1 基本的生活習慣が確立した生徒も多く、落ち着いた学校生活が送られている。 2 必要に応じてケース会議、担当者会議を開催し、生徒に関する情報の共有化を図っている。	B	1 保護者との連絡を密にする。また必要に応じ外部機関との連携強化を図る。 2 引き続き情報の共有化を図り、生徒理解を深める。
	社会生活におけるルール・マナー・モラル等を遵守する習慣や規範意識を習得させる	・登下校時、ネクタイ未着用の生徒が一部見られる。 ・日常的に挨拶ができない生徒がみられる。	3 全学年が新制服となり90%以上の生徒がきちんとした着こなしをしている。 4 継続的に分離礼の取組や挨拶の励行を教職員より行う。	3 服装面・生活面ともに全職員で連携し、粘り強く指導する。 4 学校生活の全ての場面で全職員で礼儀・作法について指導する。	3 全学年が新制服となり、着こなしが定着した。他方服装の乱れが目立つ生徒もいる。 4 実習前には必ず服装点検を行い、授業前後のあいさつの徹底に努めている	C	3、4 普段から生徒の言動を観察し、異変を感じた場合声掛けを積極的に行うなど、日常的な観察と継続的な指導の必要性がある。

令和6年度 自 己 評 価 表

鳥取県立米子南高等学校

中長期目標 (学校ビジョン)	大胆な挑戦	1 意欲を育てる 2 成長を支える 3 変化を求める	今年度の 重点目標	1 基礎学力の向上 3 的確な情報発信 5 地域社会への貢献	2 基本的生活習慣の確立 4 キャリア教育の充実 6 業務改善の取組
-------------------	-------	----------------------------------	--------------	--------------------------------------	--

年 度 当 初					評 価 結 果 (10)月		
評価項目	評価の具体項目	現状	目標(年度末の目指す姿)	目標達成のための方策	経過・達成状況	評価	改善方策
3 的確な情報発信	メディアを利用して、教育内容を分かりやすく伝達する。	・行事や授業の様子等、頻繁にホームページに掲載することができた。新たにInstagramによる情報発信を開始した。	1 ホームページやSNSがさらに見やすく充実したものになっている。	1 教職員がICTの知識・技能を深めることで、より多くの教職員がさまざまな内容について情報発信を行う。	1 ICT活用セミナーを実施し、知識・技能を高めることができた。またホームページへの掲載を組織的に取り組むことができた。	B	1 引き続き研修会の複数回開催をする。また多種多様な形で学校の情報発信に努める。
	特色ある専門高校としての人材育成に取り組む姿を発信する。	・みつばち学習発表会では、各科の取組や国際交流等の発表を行うことができた。	2 みつばち学習発表会の内容が深まり開かれたものになっている。	2 取組に探究的な要素を取り入れ、発表方法も工夫する。また3年間のスパンで学びを深める取組とする。	2 7月に学校説明会(中学校教員対象)、中学生体験入学を、10月には部活動見学会を実施し、本校の特徴、魅力の発信に努めた。	B	2 10、11月に実施予定の各種行事をHP等で案内するとともに専門高校の学びについて広くPRする。

令和6年度 自 己 評 価 表

鳥取県立米子南高等学校

中長期目標 (学校ビジョン)	大胆な挑戦	1 意欲を育てる 2 成長を支える 3 変化を求める	今年度の 重点目標	1 基礎学力の向上 3 的確な情報発信 5 地域社会への貢献	2 基本的生活習慣の確立 4 キャリア教育の充実 6 業務改善の取組
-------------------	-------	----------------------------------	--------------	--------------------------------------	--

年 度 当 初					評 価 結 果 (10月)		
評価項目	評価の具体項目	現状	目標(年度末の目指す姿)	目標達成のための方策	経過・達成状況	評価	改善方策
4 キャリア教育 の充実	職業観・勤労観の育成を図り、進路の実現を目指す。	・幅広い視野で主体的な進路検討ができるようにするため、学年全体で大学等見学、企業見学及び対話型の企業人との座談会をするなどの充実を図った。 ・放課後に、生徒保護者を対象とした大学説明会の開催や、本校に適した進学情報を提供した。	1 生徒の職業観・勤労観が高まり、明確な進路意識を持っている。 2 大学進学を目指す生徒がより高い意識を持って受験に挑戦している。	1 専門性を活かしたキャリアを形成するため、体系的な取組となる年間計画を再構築し、各種事業の充実を図る。 2 より高い意識を持って受験に挑戦できるようにするため、総合型選抜や学校推薦型選抜の対応に関する職員研修等を行う。	1 各学年に応じた進路行事を含めたキャリア教育のプログラムをPDCAで再構築し、充実させたものを現在進行中。 2 進路の多様化、入試形態の複雑化に対応できるよう、分掌・学年と連携を図っている。	C	1 本年度新規の2年生「プロフェッショナルインターンシップ」は、12月より4名が実施。1月には「企業人に学ぶ」を計画、企業人15名程度を招聘したグループ説明会を実施予定。 2 上級学校の入試形態に対応した職員研修を実施予定。
	専門的な学習の取組を深め、より高度な専門資格を取得させる。	・専門的な学習を深めることができたと考えた生徒の割合：92.5%。 資格取得に向けて放課後講習を継続的にしている(商業科、調理コース、英語科等)	3 専門的な学習を深めることができたと考えた生徒の割合：90%以上	3 新たな学習指導要領に沿った教育法、STEAM教育の推進を図る。 より難易度の高い資格の取得へ向けて、生徒への動機づけを行う。	3 R7年度観光ビジネス分野の導入に向け、教育課程の見直しを行った。 4 より難易度の高い資格試験に挑戦する生徒も見られる。	C	3 実施状況を検証し、引き続き検討していく。 4 難易度の高い資格を目指すうえで、より基本的な内容を充実させる必要がある。

令和6年度 自 己 評 価 表

鳥取県立米子南高等学校

中長期目標 (学校ビジョン)	大胆な挑戦	1 意欲を育てる 2 成長を支える 3 変化を求める
今年度の 重点目標	1 基礎学力の向上 3 的確な情報発信 5 地域社会への貢献	2 基本的生活習慣の確立 4 キャリア教育の充実 6 業務改善の取組

年 度 当 初					評 価 結 果 (10月)		
評価項目	評価の具体項目	現状	目標(年度末の目指す姿)	目標達成のための方策	経過・達成状況	評価	改善方策
5 地域社会への 貢献	地域活力の導入や地域活性化の推進を行う。	・課題研究において、地域連携や地域貢献に取り組んだグループが多く見られた。	1 生徒が探究心を持って主体的に課題研究に取り組んでいる。	1 生徒が主体性を持って課題研究に取り組み仕掛けづくりを行い、地域へ積極的に向いていく。	1 地元企業や団体との連携に努め、地域の素材、農産物を活かした商品化に取り組み、販売予定である。	B	1 継続して地域との連携に努め、地域課題の克服につなげる学びにしていきたい。中学生を対象に食育講習会を実施予定(11月30日実施)。
	学校や地域で主体的に行動でき、地域社会の発展を進める人財を育成する。	・eスポーツ活動(R5 22回の外部との連携)、家庭クラブによる各種イベントへの参加を行っている。 ・社会貢献を推進しようとしている生徒の割合：85%	2 販売実習等に主体的に取り組むことで、生徒が地域に愛着をいだき、地域の方々も本校を応援している。 3 社会貢献を推進しようとしている生徒の割合：85%以上	2 地域交流の拠点となる施設との交流や連携を深め、地域に密着した活動を行う。また、eスポーツ活動を通じて高齢者施設等とのつながりを深める。 3 生徒が達成感を感じることができる活動にすることで、生徒の積極性を高めていく。またICT等を活用しながら地域のニーズを把握、掘り下げ、新たな形での地域貢献を模索していく。	2 各種のボランティア活動やイベント補助に関わることができた。 3 学校での学びをもとに、地方自治体や各種団体が主催するプログラムに自主的に参加する生徒も増加した。	B	2 継続して地域との連携に努め、地域課題の克服につなげる学びにしていきたい。
6 業務改善の取組	ワークライフバランスを保つことを推進する。	・時間外業務が年間360時間を超える職員の割合：5% (R5年度と同程度) ・一部教員に長時間勤務が偏る傾向がある。	1 各個人の時間外業務が月30時間以内(最大45時間)以内、年360時間以内	1 ICTの活用を通じ業務の効率化を図り、また教員間での分担を推進することで科内及び分掌内で協働・共有化を図る。	1 調理コースで行っていた補充願、追試願をタブレットで実施。またformによる欠席連絡や保護者懇談予約、各種アンケートの実施、行事予定の共有など、ICT活用に努めた。 ・月30時間以上8.5%(9月末現在)	B	1 こまめなデータ管理が必要、教員も慣れる必要がある。また業務削減に向け組織的に行動する。
	長時間勤務を解消する。		2 「部活動に係る活動方針」に沿った部活動が行われている。	2 休日の部活動においては、できる限り顧問間で分担し、指導するようにする。	2 部活動指導員の活用を通じて教職員の時間外業務の軽減を、また外部指導者の活用を通じて、顧問の部活動指導に対する負担を軽減した。	B	2 引き続き協力して、生徒の安全を最大限担保しながら指導を行っていく。

評価基準 A：十分達成 B：概ね達成 C：変化の兆し D：まだ不十分 E：目標・方策の見直し

【100%】 【80%程度】 【60%程度】 【40%程度】 【30%以下】